

リン資源リサイクル推進協議会 平成 22 年度事業計画

リンは、植物や動物の生体を構成する主要な元素であるとともに、生命活動の維持に必要なエネルギーの獲得に関する重要な機能を担っているなど、欠くことのできない必須元素であり、化学肥料、工業製品、食品添加物等に、大量にかつ幅広く利用されている。

一方、原料となるリン鉱石は限られた国に偏在しており、このままリンの需要量が増加傾向で推移すれば、今世紀の後半には経済的に採掘可能なリン鉱石が枯渇するというようなシナリオも発表されている。また、近年の世界的な食料需要の増加やバイオ燃料生産等によるリン酸質肥料の需要増大を一因とするリン鉱石価格の急騰等、国内で消費するリンの全量を海外からの輸入に頼っているわが国においては、資源の安定供給面からも不安材料となっている。

このような状況に対処するため、わが国は国内で使用したリンの回収・再利用や、未利用リン資源の利用技術を開発する必要に迫られている。

リン資源リサイクル推進協議会は、このような背景のもと、都市下水、含リン廃棄物、製鋼スラグ等の未利用リン資源からのリン回収技術や農業及び工業分野における省リン技術の開発促進、工業用リン酸や黄リン製造技術の革新等の技術の検討を行い、リン資源の回収とリサイクルに関する事業化の促進を行うとともに、リンの回収と再利用を円滑に進めるための事業者間連携や再生リンの利用を促進するための施策の提言等について、産学官の幅広い関係者が一体となって、行政の縦割りや民間企業間の壁を越えたオールジャパンのレベルで戦略的かつ総合的な検討を行い、もってリン資源に関する持続可能な循環型社会の構築と地球環境保全に寄与することを目的として、平成 20 年 12 月 18 日に設立した。

平成 20 年度は、協議会の設立（設立総会及び記念講演会の開催）、NEDO等関係機関との情報交換や連携、ホームページの開設とメールニュースの配信による情報の共有、会員等への支援業務等の事業活動を行うとともに、リン資源リサイクルの実現に向けた課題や方策等の検討を行った。また、平成 21 年度は、リン資源リサイクルの実現に向けて、主として関係事業者間のマッチングや回収から利用までのリン資源リサイクルの実証等に向けた取り組みを推進するため、回収技術、利用技術双方の立場からの情報提供と意見交換を行うシンポジウムの開催、委員会設置の検討等を行った。

平成 22 年度においては、関係事業者間のマッチングや回収から利用までのリン資源リサイクルの実証等に向けた取り組みを一層推進するため、関係省庁のリン資源に関する取り組みとの連携強化を図り、リン資源リサイクルに関する多様な技術等の情報提供と意見交換を行うシンポジウム、事例視察の開催や委員会における検討を行う。

具体的な事業としては、「技術調査事業」、「普及啓発事業」、「業務支援事業」の各事業を推進し、委員会としては、リン資源リサイクルに関する技術情報の網羅的な整理・取りまとめと発信を行うとともに、リン資源リサイクル関係事業者間のマッチングやリン資源リサイクル推進における課題等、リン資源リサイクル実現のための方策等を検討する「技術評価・利用推進委員会」を設置し検討を行うものとする。また、業務支援事業については、会員等がリン資源リサイクル事業を推進する際の支援を行うものとする。更に、関係省庁、関係機関、関係事業者等との連携を積極的に図り、種々の情報や提言等についてホームページやメール等による発信を行うとともに、会員等のリン資源リサイクルへの取り組みに対して積極的な支援を行う。

1. 会務の運営

本協議会を運営するために総会、幹事会及び企画委員会を開催する。

(1) 総会 (1回開催)

1) 第3回総会

開催日：平成22年7月29日(木)(第3回シンポジウムと合わせて開催)

場 所：ポートメッセなごや 交流センター 3F 会議ホール(愛知県名古屋市港区)

参集者：関係省庁来賓、会員、取材

内 容：平成21年度事業報告及び決算、平成22年度事業計画及び予算、その他

(2) 幹事会 (3回開催)

1) 第4回幹事会(平成22年度第1回)

開催日：平成22年4月26日(月)

場 所：日本肥料アンモニア協会 会議室(東京都中央区)

参集者：役員、事務局、オブザーバー(関係省庁)

内 容：平成21年度事業報告及び決算、平成22年度事業計画及び予算、第3回シンポジウムについて、委員会について、その他

2) 第5回幹事会(平成22年度第2回)

開催日：平成22年10月中旬

場 所：東京都内

参集者：役員、事務局、オブザーバー(関係省庁)

内 容：第4回シンポジウムについて、その他

3) 第6回幹事会(平成22年度第3回)

開催日：平成23年3月上旬

場 所：東京都内

出席者：役員、事務局、オブザーバー(関係省庁)

内 容：平成23年度事業計画及び予算について、その他

(3) 企画委員会 (3回程度開催)

開催日：幹事会前の開催を基本とする

場 所：東京都内

参集者：委員、役員、事務局

内 容：協議会の活動計画について、内外に対する提言について、その他

2. 事業活動

(1) 技術調査事業

本事業は、リン資源リサイクルに関する技術や関係機関の活動状況等の情報収集及び関係機関との情報交換等による連携活動により、リン資源リサイクルに関する調査・検討を行うものであり、平成 22 年度は以下の事業に取り組む。

1) 技術評価・利用推進委員会（3 回程度開催）

リン資源リサイクルに関する技術情報（回収技術、利用技術等の方式、コスト（イニシャル、ランニング）、製品形状・性状、製品（肥料等）としての利用価値等）について、網羅的な整理・取りまとめと発信を行うとともに、リン資源の回収側と利用側のマッチング、リサイクル推進における課題等、リン資源リサイクル実現のための方策等を検討する。

2) 水の安全保障戦略機構との連携

チームとして参画している水の安全保障戦略機構の委員会等（執行審議会、基本戦略委員会、技術普及委員会、分野連携委員会等）に参加し情報収集を行うとともに、必要に応じて本協議会の活動状況の発信や提言等を行う。

3) その他関係機関等との連携

リン資源リサイクルに関する関係省庁の施策や研究機関・関係機関の活動との連携を積極的に行い、情報の共有化や活動の効率化を図る。

(2) 普及啓発事業

本事業は、リン資源リサイクル推進のための情報提供や情報交換等の普及啓発活動を行うものであり、平成 22 年度は以下の事業に取り組む。

1) 第 3 回 リン資源リサイクルシンポジウム

開催日：平成 22 年 7 月 29 日（木）

場 所：ポートメッセなごや 交流センター 3F 会議ホール（愛知県名古屋市港区）

（第 1 回リン資源リサイクル事例視察と合わせて開催）

参集者：関係省庁来賓、会員、一般、取材

内 容：リン資源リサイクルに関する各種技術に関する学識者や民間企業等からの発表、報告と意見交換

2) 第 4 回 リン資源リサイクルシンポジウム

開催日：平成 22 年 11 月

場 所：東京都内

参集者：関係省庁来賓、会員、一般、取材

内 容：リン資源リサイクルに関する関係省庁の取組の紹介と、連携の促進に関する意見交換

3) 第1回 リン資源リサイクル事例視察

開催日：平成22年7月30日(金)(第3回リン資源リサイクルシンポジウムと合わせて開催)
場 所：岐阜県 岐阜市北部プラント(岐阜県岐阜市)
参集者：関係省庁来賓、会員、一般、取材
内 容：下水処理施設におけるリン回収事例、回収リン利用事例、等

4) リン資源リサイクル推進功績者表彰

リン資源リサイクルについて、その一層の推進及びそれに従事する会員等の一層の意欲向上に資するために、リン資源リサイクルに関して優れた功績をあげた会員等に対する表彰を行う。

5) 協議会メールニュースの配信

本協議会活動(会員動向、シンポジウム等の開催案内、事務連絡等)、リン資源リサイクルに係る関係省庁の施策や公募等の情報、関係機関の活動、リン資源リサイクルに関する会員、新聞、情報誌、WEB等からの情報について、電子メールによる提供と共有を行う。

6) ホームページの運営

協議会事務局である社団法人日本有機資源協会ホームページ内の協議会専用ページにおいて、入会案内、協議会案内、会員名簿、行事・イベント等の、本協議会活動の広報を主体としたホームページの運営を行うとともに、会員等からの情報提供や意見聴取ができる方式への更新を行う。

7) その他

報道関係者、一般等からの問い合わせ(協議会の概要や活動、会員等の紹介、入会手続き等)への対応を行う。

(3) 業務支援事業

本事業は、リン資源リサイクルに関する事業や研究等に関連する会員等からの要請、要望あるいは問合せ等を受けて、その業務を合理的かつ円滑に執行するための支援を行うものであり、平成22年度は以下の事業に取り組む。

1) リン資源リサイクルに関する支援事業

会員等からの要請や問合せを受けて、情報及び資料の提供、面談指導、役職員等の派遣等を行う他、会員等がリン資源リサイクル事業や研究等を推進する際の様々な課題について、要請に応じて随時検討や協力を行う。

2) その他

関係省庁や連携機関、会員等からの問い合わせへの対応を行う。